

首都高からも一般道からも利用可能！イイナパーク川口内「川口ハイウェイオアシス」に、親子の全天候型あそび場「ASOBooN(アソブーン)」を協業開発 2022年4月25日(月) オープン

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーンエルド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、川口市が整備し、2022年4月25日(月)にオープンする「川口ハイウェイオアシス」内に、首都高速道路サービス株式会社と協業し、子ども屋内あそび場「ASOBooN(アソブーン)」を開発しました。当社がプロデュースする初の高速道路 SA・PA 施設であるとともに、関東最大級の屋内外のあそび場となります。

子どものあそびや多世代交流の促進に … 社会インフラとしての「あそび場」を、多くの自治体と開発

昨今、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少し、子どもの体力やコミュニケーション能力の低下が危惧されています。また、子育て中の親の孤立化も課題となっています。こうした問題を解決すべく、当社は自社の室内あそび場「キドキド」の開発・運営で培ったノウハウを生かし、各地の自治体と協働してこれまで全国に約60カ所のあそび場を開発してきました。これらの施設は子育て中の親と子に加え、幅広い世代の方々が交流するきっかけとなり、地域のコミュニティのハブとして、街の活性化にも寄与しています。

川口ハイウェイオアシス：全天候型あそび場「ASOBooN(アソブーン)」

「ハイウェイオアシス」は、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアに隣接する土地を一体的に整備し、高速道路と一般道路の両方からアクセスできる施設で、利便性向上や地域活性化の観点から全国で整備が進んでいます。「川口ハイウェイオアシス」は、川口市の自然豊かな「イイナパーク川口(赤山歴史自然公園)」を拡充し、高速川口線川口パーキングエリアと連結した、首都高としては初めてのハイウェイオアシスです。



これにより、高速道路を降りずに公園や地域を散策でき、地域の人は公園やパーキングエリアをより利用しやすくなります。

都心へのアクセスの良さから住みやすい街として人気が高い川口市では、子育て支援の充実に向けた施策を進めており、一方で近年ではパーキングエリアに子育て機能を充実してほしいというニーズが高まっていました。こうした背景から、川口ハイウェイオアシスにおいて商業施設(レストラン・カフェ・売店)の整備を行う首都高速道路サービス株式会社と親子のあそび場の開発運営に知見のある当社が協業して、川口ハイウェイオアシス内に、全天候型の親子のあそび場「ASOBooN(アソブーン)」を開発することとなりました。

当施設は、街や道路、森といった独自のテーマを有する 7 つのエリアで構成された、屋内外のあそび場です。各エリアは、0 歳から 12 歳までの子どもの発達ごとに、興味や意欲を引き出すような遊具やしかけをそろえ、“こころ・頭・からだ”のすべてを使って存分に遊べます。

あそび場に入るとすぐに車の遊具が出迎え、センターラインをデザインした道が、特色豊かな施設内の 7 つのエリアをつなぎ、親子をあそびの旅へと誘います。

1) レッド・デッキ

大きな橋の展望デッキのように、あそび場全体を見渡せる、クライミングやスロープなどの仕掛けがある大型遊具です。首都高を模した大きなジオラマや、地元川口の鋳物産業が生み出した鋳物を楽器として鳴らして楽しめるコーナーを配し、あそびの動線の中で発見があり、自然と学べるようになっています。



2) スカイ・ハイウェイ

高速道路を駆け抜けるように、高さのあるタワーを中心に、上下左右にダイナミックに動いて楽しめるあそび場のシンボル。小学生の子どもに適した様々な難易度のあそびが盛り込まれ、あそびながら「登る」、「わたる」、「すべる」、「揺れる」といった多様な動きを体験でき、バランス感覚も養われます。また、5 歳から遊べるターザンロープも設置しています。



3) ブルー・サーキット

横断歩道や標識が並び、安全で楽しく、三輪車に乗って楽しめる三輪車サーキット。三輪車に乗ることで脚力や腕力、バランス感覚を養うことはもちろん、周りを見渡しながらか三輪車を操り、ルールや順番を守ることで思いやりの気持ちも育みます。



4) グリーン・スクエア

高速道路のパーキングエリアのように、施設の中央にある、みんなが立ち寄る場所です。可動式の遊具を定期的に入れ替えることで、行くたびに違うあそびが展開されます。思い切り跳ぶ・走るあそびができるエアマットや、回転遊具などで遊べるほか、平日はベビー向けの遊具を展開したり、イベントを行ったりすることもできます。



5) フォレスト・ヴィレッジ

木製のテイピーテントやベンチを配し、まるでキャンプ場に来たようにリラックスして過ごせるスペース。ブロックやおままごとなど「静」のあそびに集中できます。キッチンセットに加えて、マーケットスペースやテーブルをそろえ、ごっこあそびはどんどん発展していきます。



6) オレンジ・ポンド

はいはい・よちよち歩きの赤ちゃんが、安心して自由に動き回れるベビー専用エリア。月齢ごとに、赤ちゃんの好奇心を刺激するあそびやしかけをそろえ、エリア内を自然に動き回って発達を促す工夫があります。保護者にとっては、子育てに関する情報交換や憩いの場としても機能します。



7) イエロー・ヤード

光や風を感じながら遊べる屋外のエリアには、川口市特産の植栽を取り入れています。荒川になぞらえて治水をイメージした木製のレールに水を流したり、砂や泥遊びをしたり、滑り台や大型ブランコを楽しんだり、五感をフルに使って遊べます。



イベントも実施できる屋内中央



楽器のように鑄物を鳴らすコーナー



自然遊びが楽しめる砂場



黄色いパトロールカーを模した遊具



首都高を模したジオラマ



道路標識を模した場内の案内

ポーネルドは本施設を通して、今後全国に広がる「ハイウェイオアシス」整備の、一つの在り方の提案もしていきたいと考えています。

「ASOBooN(アソブーン)」概要

- 所在地：埼玉県川口市赤山 501-1
- あそび場面積：1087.4㎡（屋内：899.7㎡、屋外：187.7㎡）
- 利用可能時間：（平日）10時～17時（土日・祝日）10時～18時
- 定休日：火曜日
- 利用対象者：0歳～小学生とその保護者（定員あり）
- 開業日：2022年4月25日
- 利用料：1,500円（子ども1人+大人1人）※1

追加料金 子ども900円/人 ※2 大人600円/人

※1：平日：時間無制限(再入場可)、土日・祝日：2.5時間制(再入場不可)

※2：6ヶ月未満のお子様は無料

- 運営管理：首都高速道路サービス株式会社



【 ボーネルンドについて 】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 64 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では直営のあそび場全国 25 ヶ所、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた行政のあそび場を全国約 60 ヶ所プロデュース、年間 350 万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報部
担当：西山、村上
TEL：03-5785-0860、080-5901-3591
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーネルンド
TEL：03-5785-0860(月～金 10:00～17:00)